

1. 調査に至る経緯

2. 調査の位置と周辺の歴史的環境

3. 調査の成果（被験者334名調査）

4. まとめ

今回の調査では、狭小な調査区ではあったが、姫路城の外堀およびこれに伴う石垣を調査し、最近の調査成果と合わせて外堀の実像の一端を明らかにすることが出来た。箇所によって石垣の積み方に違いがあることを再確認できたは貴重な成果といえる。

[引例] 佐藤義久「北朝の19世紀『新編御文庫』心のと人間の文化史」256頁。筑波大学出版局、1990年。『人間における心的・精神的・倫理的・技術的・社会的問題』『人本開拓研究学術叢書』第42集、1990年。『新編御文庫』解説付。中井忠也著『新編御文庫』。

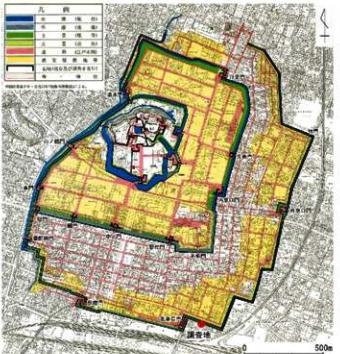


图2 检查位置图 (S=1/3 mm)

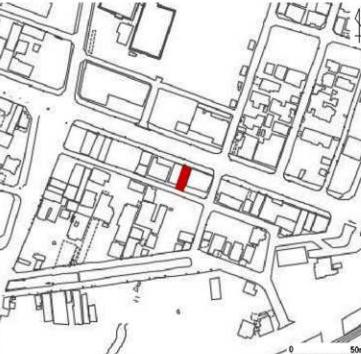


图2 检查位置图 (S=1/3 mm)

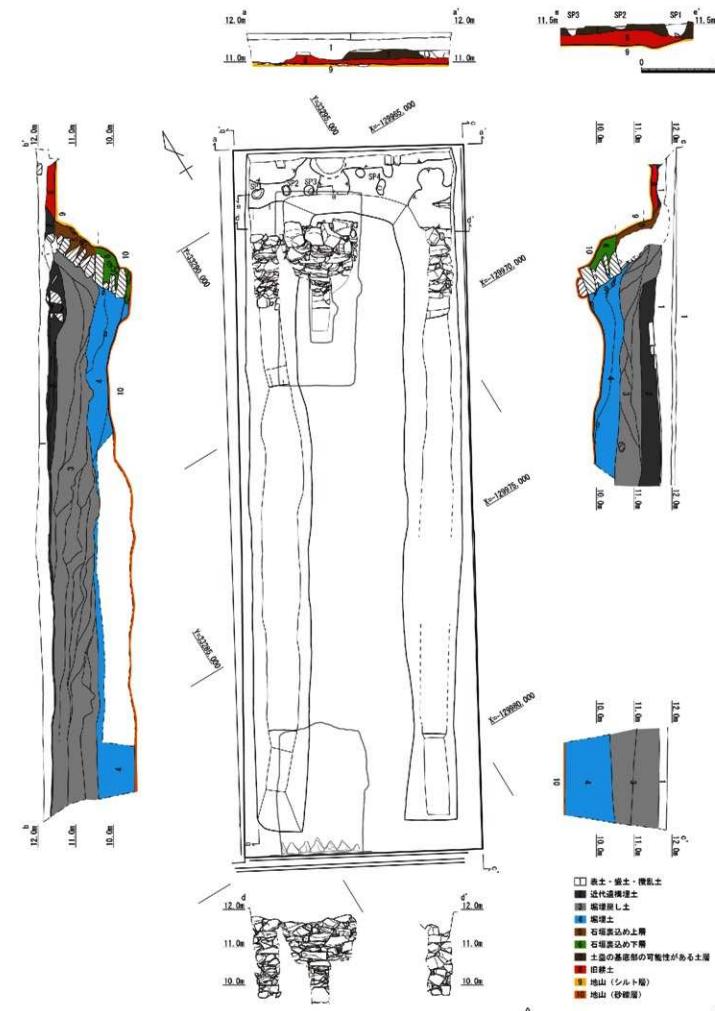


図3 検査区平：断面図 破壊検査区平：断面図 石垣立面図 (S=1/100) 上ピット断面図 (S=1/100)